

滝上町こども園 子育て支援室だより

子育て支援室の『扉』が開かれて一年になります。
たくさんの親子が遊びに来てくださいました。

こども達が「おはよう」の挨拶をして、「〇〇ちゃんがきた」と抱き合っ
て喜ぶ姿はとも可愛いものです。

お母さんたちも、「こどもが寝返りしましたよ」「2、3歩 歩けるよ
うになりました」「こども同士であそぶとよく寝るんですよ」「まだ言葉
がでないんですよ」「離乳食はどうしてるの」などと、近況を報告し
あったり、悩みを相談し合ったりしていました。

気軽に来られて、気軽に話せる部屋になってきています。

みんなでこどもたちの成長を大事に見守りながら遊んできました。

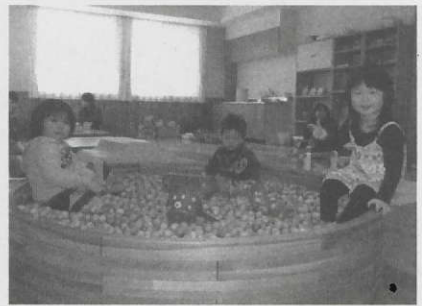
子育て支援室の様子をちょっと紹介いたします！



神社で見た満開の桜。
顔もピンクに染まりました。



積み木まで、
ハイハイ競争だ～！



木のボール？たまごみたいだ
ね。何して遊ぶ？



積み木組み合わせて…
登ったあ～！



ちびっこひろばで遊んでから
絵本も見たよ。



クリスマスにサンタとトナリ
イでパチッ。



鬼が来て…怖いけどガンバっ
て豆まきしたよ！



みんな！私について来てね～

【子育て支援室の利用状況】 (4月～1月)

- ◆集いの広場
延べ792人
(月平均79人)
- ◆遊びの広場
延べ301人
(月平均30人)
- ◆ちびっこ広場
延べ 60人
(回平均20人)

“灯りミュージアム” を目指して

～アイスキャンデルの取組～
滝上町社会教育委員
(滝上町こども園園長)
松井 正信

今年は今九
州から北海
道まで寒さ
が例年にな
く、厳しく、
雪も多い年
になっています。
特に日本

海側の豪雪地帯や北海道の道南から内陸にかけては記録的な大雪になっています。

本町も今年は雪より寒さが厳しい年になっています。



さて、このような中、雪国ならではのアイデアを生かした雪や水の祭典が今年も各地で行われています。

祭典では大きな像が沢山つくり、見ごたえのあるものばかりですが、小さなアイスキャンデルやスノーキャンデルを中心とした祭典もあります。



ホテル溪谷周辺の遊歩道

最近では小樽の雪あかりの路で有名ですが、近隣の町でもかなり早くから行われています。

私もキャンデルの灯りが雪に映る光景に魅せられて、数年前より始めました。本町でも写真にあるように始まっています。

雪が降ったりすると、除雪の邪魔になったり、雪に隠れて見えなくなってしまう、管理に少し手間がかかるかもしれません。

しかし、少しの数で置き場を工夫することによって長く続けることができます。
本町は寒さが厳しいため、氷や雪でつくるキャンデルは一度つくると長持ちして最適です。

春を待つこの少しの時期に、ろうそくのほんのりとした灯りで、心静かに思いに耽る時間をつくってみませんか？

一軒2、3個つくり、町全体がキャンデルの灯りで、「灯りミュージアム」をつくることができました。最高です。



こども園中庭斜面の様子

【アイスキャンデルの作り方】



入れ、中に入れてお湯を少しお湯で透明な氷に、1日程度外に置きます。

凍らせず、側だけ凍らせます。お湯を静かに氷を削ります。



バケツの底の部分は雪についていた部分なので、他の部分に比べあまり凍っていません。そこをドライバなどで静かに削り、中の水を捨てます。

ろうそくを立て、中に灯りをつけると完成です。優しいろうそくの灯りが冬の夜を彩ります。

